

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

さようなら留学生

スイスとオランダからの留学生の修了式が、7月9日に行われました。一年間、日本の生徒と過ごした学校生活は、二人にとってかけがえのない体験になりました。ホストファミリーへのお礼に書いた「躍」と「飛」は、感謝の気持ちを込めて二人が選んだ言葉です。茶道、生け花などの日本文化に触れ、体験した琴を箏曲部の皆さんと演奏しました。二人が奏でた曲さくらが礼拝堂に響きわたり、クラスや部活の日本人生徒からたくさんのメッセージをもらい、いつかまた世界のどこかでと再会を誓い合う生徒たちの、希望に満ちた修了式でした。

留学生の最後のスピーチを紹介します。



本当にありがとう

131 Michelle Adriana Cornelia BOHR (ミシェル)
ロータリークラブ交換留学生
出身：Trevianum Scholengroep (オランダ)
期間：2016/8/25 ~ 2017/7/6



これが私の日本で最後のスピーチです。この一年は楽しいことのおかげで早く感じましたし、悲しいことがあったときはゆっくり進みました。私は多くの日本文化を経験しました。東京や大阪など様々な場所に行きました。東京の人と京都の人は全然違いました。言葉も違います。その違いは面白かったです。私は学校に初めて来たときのことを覚えています。山と田んぼがありました。本当にきれいですね。私はそれを毎日電車の中で思いました。今日、最後の日も同じです。

私は日本語を学びました。私は日本に来る前

にちょっと日本語を勉強しましたが、上手ではありませんでした。今も上手ではありませんが、簡単な話は大丈夫です。

オランダと日本の生活は違うことが多く、私は色々な経験をしました。嬉しい経験ばかりではありませんでした。留学することはとても難しいことです。外国人ですから、ことばの壁がありました。最初は友達を作ることがとても大変でした。私の日本語が完璧ではなく、私たちの文化がとても違うからかもしれません。

私はオランダに帰りたい気持ちと帰りたいくな



い気持ちが半分半分です。オランダに帰ったら

両親や、友達に会えます。そして、私は来月から大学生です。でも私は日本が好きになりました。帰ることは、悲しいです。私は今日本に友達がいますし、日本の生活に慣れてきました。そして日本の文化と日本語が好きです。

最後に、もう一度感謝したいです。同級生のみんな、ありがとうございます。みんなが私のことを手伝ってくれました。一緒に食べたり、勉強したことうれしかったです。

ロータリークラブの皆さん、私のお世話をしてくれました。ありがとうございます。ロータリーは厳しいこともあったけど、優しかったです。

そして、最後にホストファミリーのみなさん。みんなは本当に優しかったです。お弁当を作ったり、私の心配なことを聞いてくれたりしました。大変なことがあったら、手伝ってくれました。ずっと忘れません。

みなさん、本当にありがとうございました。

まだ最後じゃない

P22 Aureile Grandjean (リリー)

AFS 年間留学生

出身：CO de la Gruyere-La Tour de Treme (スイス)

期間：2016/8/25 ~ 2017/7/6



私はスピーチを書くのが苦手なんですけど、頑張ってこれを書いてみました。もう本当に、「あっ」という間に 11 ヶ月が過ぎました。最初にはこんなに早く終わるものと思わずに、あまり楽しいことをしなくて、いつも暇でした。でも、今は友達と遊びたいの

に、忙しくて学校以外に皆に会える時間がないです。

覚えているかどうか分かりませんが、前のスピーチで言ったとおり、学校は苦手なので、実は学校どうなるか、不安でした。日本語が本当にしゃべれへんかったし、シャイだから、友達を作るのもむずかしかった。

それでも学校へ行くのを楽しみにしていました。国際部の日本語の授業のおかげで、日本語がちょっとだけ喋れる方になったので、感謝しています。問題があった時にたすけてくれたし、いつも応援してくれたこと、ありがとうございました。

一年間で、出会いがめっちゃ多かったです。

クラスメイトだけではなくて、先生たちや他のクラスの生徒や部活の人とも仲良くなりました。新学期が始まって、クラスが変わったら、また忘れられない人が増えました。

去年と、今年の授業を担当してくれた先生方にも感謝しています。いつも優しく、私の国にも興味を持っていてくれて、とても嬉しかったです。

スイスと違って授業が終わってもまだ部活があつて、楽しくて、面白かったです。フランス語を教えたり、おしゃべりもたくさんしました。文化祭も、カフェのテーマをスイスにして、「いつもリリーのことを考えてくれて、優しいなあ」と思っていて、とても嬉しかったです。



実は言わないほうがいいかもしれないけど、最初にこの学校に入ったとき、がっかりしました。やっと日本の学校に入れるのに、キリスト教の学校で、私が欲しかった可愛い制服ではなかった。しかも、他に留学生がいました。国際部の先生とは英語で話をしていて、クラスメイトとも英語でおしゃべりをして、日本語を話す時があまりなかったら、上達できるだろうかと思っていて、不安でした。でも、今思うのは、「兄弟社に入って良かった！」毎日クラスメイトや留学生と過ごして、もちろん日本語も上達しましたし、英語も上達しました。

去年のクラスメイトも全然日本語を話せなかった私に、辞書を使って英語で話しかけてくれて、ありがたかったです。

今まで、お世話になりました。でも、まだ最後じゃない。確かにスイスに戻るから、長い期間会えなくなるかもしれませんが、あと何回も日本に帰ってみんなに会いに行くから、待っててね！

今日は修了式やけど、明日暇やから、また学校へ行ってみんなに、もう一回会おうと思っています。



ただ今留学中

My Australian life, a huge experiment

I21 伏木彩澄菜
姉妹校中期留学

留学先：Citipointe Christian College (オーストラリア)
期間：2016/7/16 ~ 2017/6/24



It's been about a year since I came to Australia and this is my final report. I'm looking forward to seeing my family and friends, but I'm sad to leave Australia, because Australia has changed me. This year is the year where I have studied hard, learnt many things and enjoyed the most. I have so many memories of my Australian life.

First of all, the time in Australia was all for studying. I was always studying and was busy doing homework. I often felt that I wanted to give up and get away from tough work, but I always tried to keep on doing it. I don't know how I managed to do that, but it must be I really got to like English. As I did not enjoy science in the past, if it hadn't been for learning English, I wouldn't have studied science so hard just like I'm doing now.

Secondly, it was a right decision that I decided to study abroad at Citipointe Christian College for a year. When I was young, I didn't think that I would ever study abroad for such a year, because I'm quite shy and I couldn't do anything when I studied abroad for two weeks, twice before. The reason why I chose this school is because there is an International College to study English every day, and I thought it wouldn't be the same as the last two short-term overseas studies when I had decided to go to other schools that didn't have an international college, so I had to join the secondary school straight away. To be honest, when I was in Japan, I wondered whether if I studied abroad for

long-term, I would automatically to be able to speak English fluently. However it wasn't quite like what I was thinking. For instance, English native speakers have been learning English since they were born just like we've been learning Japanese. That means it will be certainly difficult to get good English in a year. Therefore, this study abroad at Citipointe Christian College taught me the importance of effort and made me work hard. As I mentioned, when I was in Japan, I didn't think I would have been in Australia for a year, but now I can't imagine what I would be like if I hadn't come to Australia, and I'm actually afraid to think about that. I might have changed myself even if I hadn't come here, but I definitely think the decision to study in Australia led me to change myself well.

I'm pleased that I could come here, and all the people I have met in Australia have influenced and inspired me. My Australian life is a huge experiment because I have been able to face up to English as a language (I often thought English was just a kind of puzzle). When I get back home, everything will probably look different even if it hasn't changed, because I've changed. I won't forget what I've learnt in Australia, and I'm very thankful to my family, teachers and people I've met in Australia, and I really appreciate the opportunity of studying abroad. (2017/6/21 受信)

ニューフェイス紹介

6月から国際部に勤務しているメンバーを紹介します。主に留学生の日本語指導を担当します。自己紹介を掲載します。

出会いは偶然ではない

国際部 中川 奈緒



近江兄弟社高校の生徒だった私が今ここで働いているということに、不思議な縁を感じています。6月半ばより国際部にて、留学生のサポ

ートそして日本語授業を担当しています。

卒業してからずいぶんと月日が経っているにもかかわらず、校舎に入るたび当時の思い出が鮮明に蘇ります。友達や先生、文化祭に体育祭、そしてクラブ活動など、毎日が本当に楽しく最高に充実した高校生活でした。

本校へは、子供のころから続けていたクラシックバレエと学業を両立するために入学しました。高校卒業後のバレエ留学という夢を果たすべく、放課後に京都のバレエ団へ通い、長浜の自宅へ帰宅する頃には日付が変わっているということも度々ありました。定期試験中は、ほとんど寝ていなかったように思います。今では考えられないような生活ですが、夢に満ち溢れた若さがあったからこそ可能だったのでしょう。そんな中、人生において大きな選択を迫られる時期がありました。三者面談で担任の先生から大学進学を勧められ、両親にも押し切られたかたちで高校卒業後の留学をあきらめることになったのです。私の意思とは反した進路決定に、早期バレエ留学を望んでいた私は落胆し、絶望

感を味わったのを覚えています。

人生において思い通りにいかないことというのは、本当にたくさんあります。自分を取り巻くその時々状況や環境などによって変更を余儀なくされた時、一見それが回り道に見えます。しかし、実際に私にとって大学進学が無駄だったかというところと全くそうではなく、むしろ進めてくれた先生そして両親にとっても感謝しています。大学卒業後には思い通りバレエ留学を果たし、帰国後はダンサーとしての夢も叶いました。それに加え、カナダでのバレエ教師や日本語教師の経験そして現在、これら全ては大学で得た知識や出会いがあったからこそめぐってきたチャンスだと思います。どんな道に進んでも、それには必ず意味があり、また出会いは偶然ではありません。ここへ帰ってきたのも、私にとって新たなチャレンジです。この縁、いつまでも大切にしていきたい…。



受け入れ予定

夏休みが終わる頃、新しい留学生がやってきます。また、コロラドカレッジからの研修生も学園に着任します。



Christina

Christina De Cadiz Gomez

期間 (予定) 2017/8/25 ~ 2018/7/7

AFS 年間留学生

出身国: スペイン

出身校: Nuestra Señora de las Escuelas Pías de Noche

生年月日: 2001/1/1

好きな科目: 数学、生物

好きなスポーツ: バasketボール、サッカー、マウンテンバイク



David

David Isaac Berger Todisco

期間 (予定) 2017/8/21 ~ 2018/7/30

コロラドカレッジからの研修生

出身国: アメリカ

出身校: Colorado College

◆高校生のころから日本に住んで英語を教えることが目標。一度日本に来たことがあるが、その頃から再来日を決心。コロラドカレッジで、ESL での英語指導を経験。マサチューセッツ州出身。



ヴォーリズの出身校
Colorado College